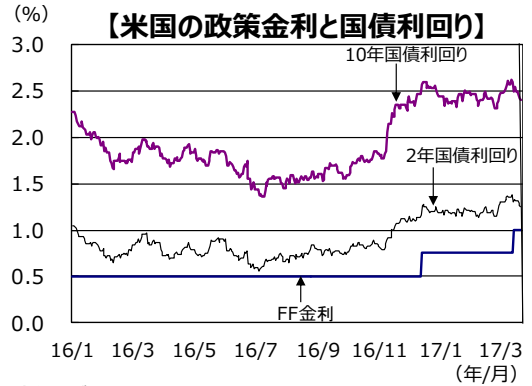


**今日のトピック 最近の米国の債券市場（2017年3月）**

**長期金利は比較的小動きの展開が継続すると予想**

**ポイント1 国債利回りは足元で一進一退  
将来の金融政策の見方がポイント**

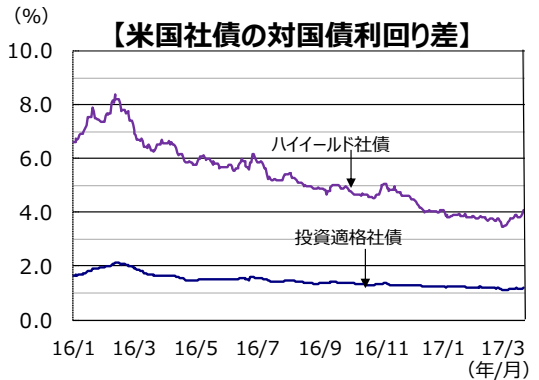
- 米国では、良好な雇用環境などを背景に景気は堅調さを増しています。そのような環境下で、3月15日には利上げが行われましたが、インフレが落ち着いていることもあり、今後の利上げは緩やかなペースで行われると見込まれます。
- 債券市場では、利上げのペースが加速するのではないかとの見方から、3月中旬には10年国債利回りが2.6%を上回る局面もありましたが、足元では2.4%付近まで低下しています。



(注) データは2016年1月1日～2017年3月22日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 社債は足元で比較的小動き  
投資家の需要は根強い**

- 米国の景気回復や好調な企業業績に加え、世界経済や政治動向などが金融市場に大きな波乱を与えていないことなどから、年明け以降は社債と国債の利回り差は概ね安定的に推移しました。
- 2016年の春以降は、社債と国債の利回り差がかなり縮小しましたが、少しでも高い利回りを求める動きは続いています。



(注1) データは2016年1月1日～2017年3月22日。  
(注2) 米社債スプレッドはBloombergパークレイズ米国社債指数ベース。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**今後の展開**

**米国の債券市場は比較的小動きの展開を予想**

- 政府による大規模な景気刺激策は、米国議会の審議によって大幅な財政悪化を避けるような規模に落ち着きそうです。また、インフレが当面落ち着いて推移する可能性が高いなか、利上げのペースも緩やかと予想されるため、国債の利回りは引き続き一進一退での推移になる見通しです。
- 社債については、国債の利回りが現状程度にとどまる中では、少しでも利回りの高い資産への需要は根強く、社債と国債の利回り差は安定的に推移すると予想します。

**ここも  
チェック!**

2017年3月16日 **米国の金融政策（2017年3月）**

2017年3月13日 **堅調に推移する米国の雇用統計（2017年2月）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。